

エンゲキ の すすめ

9/27^土

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

参加費無料

～このワークショップは2部構成です～

第1部(午前)は、〈だれでも参加でき、楽しく見たり体験したりできる時間〉+〈小作品『走れメロス』を鑑賞する〉ワークショップ、
第2部(午後)は、演劇を学びたい方・もっと深めたい方を対象に、俳優の基礎を体験するワークショップです。

1^{STEP}



／ 第1部 ／

『エンゲキの入口』

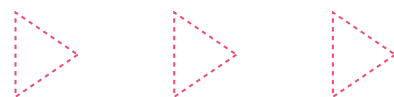
～こどももおとなも一緒に楽しもう～

10:00～11:30

(受付は20分前より開始)

対象 小学生以上どなたでも

※未就学児の参加も可能ですが、申込フォーム内に記載の
注意事項をご確認・了承いただいた上でお申込みください。



2^{STEP}

／ 第2部 ／

『エンゲキの基礎』

～俳優の土台をつくろう～

13:00～15:30

対象 高校生以上の演劇経験者

(応募多数の場合、午前からの連続参加者を優先します。)

主催

鳥取県総合芸術文化祭実行委員会・鳥取県



参加申込方法・詳細は
◀裏面をチェック

—— エンゲキが、こんなに楽しかったなんて！

講師・出演

劇団 山の手事情社



あの『劇団 山の手事情社』が、“観る楽しさ・演じる喜び”を届けに来る！

エンゲキ の すすめ



【劇団山の手事情社について】
1984年に安田雅弘・池田成志らのメンバーにより早稲田大学演劇研究会を母体に結成。以来、一貫して「演劇にしかできないこと」を追求し、現代演劇を代表する舞台芸術集団として発展。1997年より現代人を制約された動きで表現する《四畳半》という演技様式に取り組み、近年海外での公演も多い。公演活動のほかに、当劇団が独自に開発・アレンジした《山の手メソッド》を用い、《演劇的教養》を広めるワークショップや講座にも力を入れており、全国各地で行なっている。2018年、主宰の安田雅弘が『魅せる自分のつくりかた』講談社選書メチエを上梓。

STEP
1

〜こどももおとなも
一緒に楽しもう〜

『エンゲキの 入口』

10:00~11:30

受付は20分前より開始

演劇ワークショップと観劇が一緒に楽しめる、とっておきの時間です。はじめに普段俳優が行なっている練習方法をご紹介します。見るだけでも良いし、講師と一緒に身体を動かして体験することもできます。その後、俳優の身体と声のみで表現する、小作品『走れメロス』（原作：太宰治）をご覧ください。こどももおとなも、演劇を観たことある方もはじめての方も、お気軽にご参加ください。

対象：小学生以上どなたでも

※未就学児の参加も可能ですが、申込フォーム内に記載の注意事項をご確認・了承いただいた上でのお申込みください。

STEP
2

『エンゲキの 基礎』

俳優の土台をつくらう

13:00~15:30

応募多数の場合、午前からの連続参加者を優先します。

このワークショップでは台本は使いません。台本の役を演じる前の、俳優に必要な基礎をお伝えします。第1部(午前)の『エンゲキの入口』で見たり体験したりした身体や声の練習を、さらに深掘していきます。台本で作る芝居をゴールと考えるなら、スタートはどこだろう？ まずは自分を知ることからはじめましょう。俳優になりたい！ 演劇の現場と関わりたい！ そんな方のご参加をお待ちしています。

対象：高校生以上の演劇経験者

定員：30名程度

イベント
ページは
こちら



7月26日(土)10:00~ 受付開始 /

Googleフォームより
お申込みください。
申し込みはこちら



※お送りいただいた個人情報は当該事業を実施する目的にのみ使用します。

- 特別後援：新日本海新聞社、鳥取県ケーブルテレビ協議会
- 後援：鳥取県教育委員会、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町
- 協力：鳥取県演劇連盟

第23回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2025 開催テーマ

FUN! FUN! アート!

楽しい! 嬉しい! 最高のフクフクを
たいけんしよう!

とりアート HP



問い合わせ先

鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局
(公財)鳥取県文化振興財団 エースバック未来中心内

TEL 0858-23-5391

(9:00~18:00/エースバック未来中心の休館日除く)